

令和 8 年 1 月 26 日  
報道発表資料  
午後 1 時 リリース

## プレスリリース

### 2025 年度第 3 四半期 iCONM/CHANGE ニュースレターの発行 および プロジェクト CHANGE 年次シンポジウム開催 のお知らせ

報道関係者 各位

平素は大変お世話になっております。

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）は、同センターの活動およびニュースを綴った iCONM ニュースレターを四半期ごとに発行しています。2025 年度第 3 四半期（10 月～12 月）における弊センターの活動をまとめた「iCONM/CHANGE 2025 年度ニュースレター冬号」を 本日付で発行しましたので、添付させて頂きます。ご興味ある内容がございましたら是非お問い合わせください。

また、後述のとおり、文科省/JST COI-NEXT 川崎拠点（プロジェクト CHANGE）の年次シンポジウムを 3 月 5 日午後に川崎市産業振興会館ホールにて開催します。同プロジェクトが「レジリエント健康長寿社会」の実現に向けて取り組む「ケアを提供する側のイノベーション」と「ケアを受ける側のイノベーション」のうち、今回は前者にテーマを絞り、「ナーシングエンジニアリング」の現状についてお伝えします。川崎拠点の強みは全国で唯一の市単位看護協会（川崎市看護協会）との緊密な連携と、採択機関中で唯一の自治体系機関（川崎市産業振興財団）が代表機関を務めることにあります。大学での研究成果を速やかに社会実装する上でこの強みは大変重要で、2024 年に立ち上げた「かわさきケアデザインコンソーシアム（ケアさき）」には 40 社近い会員企業が集まりました。試作品を看護現場で評価し企業に迅速なフィードバックが行える点は魅力的です。こうした背景のもと、「ナーシングエンジニアリング」の研究課題をより効果的に進めるための新年度からの体制についても公表する予定です。

シンポジウムの基調講演には、韓国・浦項工科大学 (POSTECH) から、Prof. Sei-Kwang Hahn を招き、2040 年ころには高齢化率で日本を上回るとされる韓国のケア事情と最新のウェアラブルデバイス技術について講演をお願いしております。第 1 部では、他に川崎市看護協会の堀田彰恵会長と、東京科学大学の松元 亮（あきら）教授が登壇します。また第 2 部では、2025 年 11 月に実施した川崎市立川崎高校福祉科と川崎市立川崎総合科学高校科学科によるワークショップを振り返ります。そして第 3 部では、看護理工学会理事の仲上豪二朗先生（東京大学医学部附属グローバルナーシングリサーチセンター教授）と（株）リリアム大塚会長の白崎 功 氏から提供される看護×

工学の話題について、大学生、高校生を交えた討論を展開します。

### 第3四半期ニュースレターの構成：

- 挨拶/ 片岡一則センター長
- ハイライトニュース 10 件
- 異文化交流ニュース 3 件
- 研究ハイライト 3 件
- コラム/ 2025 年 10 月～12 月に公開されたコラム 3 報のリスト
- イベント予告/ 市民公開講座：ここまできた老化制御！最新研究と、私たちの暮らしへの影響を考える

【基調講演】高橋暁子先生（がん研・東大）、白川展之先生（新潟大 ELSI センター）

【パネル討論】ジャーナリスト、製薬企業、大学院生 + 基調講演者

- 編集後記/ iCONM イノベーション推進チーム

尚、四半期ごとに発行するニュースレターのバックナンバーは以下のサイト（右の QR コード）から閲覧可能です。

[https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/activities\\_news\\_letter.html](https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/activities_news_letter.html)



### 第4回 CHANGE シンポジウムのご案内：

日時：2026 年 3 月 5 日 木曜日 13:00-17:10

場所：川崎市産業振興会館ホール（JR 川崎駅北口から徒歩 7 分

オンライン ライブ配信あり（Zoom ウェビナー）

参加費： 無料（交流会参加費：2 千円）

同時通訳： 日英 同時通訳あり

詳細・参加登録： 右の QR コードまたは下記 URL から

[https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/pdf/event\\_4th\\_symposium\\_proceedings.pdf](https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/pdf/event_4th_symposium_proceedings.pdf)



以上

### ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

## プロジェクト CHANGEについて

文部科学省/JSTによる「令和4年度共創の場形成支援プログラム COI-NEXT」（共創分野・本格型）に川崎市産業振興財団（理事長：鈴木 育、所在地：川崎市幸区、略称：KIIP）が代表機関となり申請し、2022年10月25日に採択されたCOI-NEXT 川崎拠点のことをプロジェクトCHANGEと呼びます。「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会」をビジョンに掲げ、少子高齢社会にあって負担が増える医療職種の中でも、これまで工学がほとんど介入してこなかった看護領域に特に着目してケア業務の負担軽減を工学の力で行うとともに、老化に抗う身体を造る術について研究開発を行い社会実装します。さらには、市民のケアコンピテンシー（ケアする力）を高め、誰もが簡便に扱えるケア製品やシステムを開発します。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

2026年1月26日